福井・日野川朝宮橋下流

1 所在地　福井県丹生郡清水町朝宮（日野川河川敷）
2 調査期間　一九八二年三月
3 発掘機関　清水中学歴史部員が表採
4 調査担当者
5 遺跡の種類　不明
6 遺跡の時代　不明
7 遺跡及び木簡出土遺構の概要

現地は、日野川にかかる朝宮橋の下流約百mの左岸で、以前から古墳時代から近世にかけての土師器・須恵器・陶磁器片多数と製塩土器一点が採集されていた。

（福井）

木簡は、清水中学歴史部員が同地点の水際砂層表面を調査中に土器片とともに発見した。発見地点は、流水の影響を受けやすく、土層の堆積が不安定である。また、対岸は、古代荘園で著名な東大寺領道守荘の南西に位置しているが、この木簡との関係は不明である。

8 木簡の釈文・内容

・「象馬牛羊〔羊カ〕〔輿カ〕輦□車乗田業僮僕人□衆多」
・「出入息利乃□□□□□□　□□　」　255×16×2　011

四字句の漢語を記したもの。「象馬牛羊」は動物名を列記したもの。「羊」は動物名とみれば「羊」の異体字か。「輦輿車乗」は乗物、「田業僮僕」は農業をする召使い。「人□衆多」の二字目は「民」か「良」であろう。「出入息利」の「息利」は漢籍にも用いられる語で、特に我国の出挙との関係を考えなくてもよい。

（田村満男）